

資料	
----	--

奥州市 景気動向調査報告書

実績：令和2年1月～令和2年3月期

見通し：令和2年4月～令和2年6月期

令和2年5月
奥州商工会議所
前沢商工会

奥州市景気動向調査結果（概要版）

（実績：令和2年1月～令和2年3月期）
（見通し：令和2年4月～令和2年6月期）

「業況DI、売上DIは前回より大きく悪化
先行き業況DI、売上DIはかつてない大幅な数値悪化」

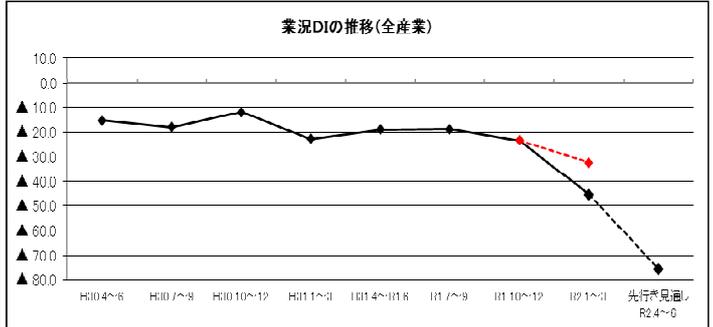
【ポイント】

今回調査の全産業合計の業況DIは▲45.2と、前回調査(▲23.4)から21.8ポイント悪化した。業種別では全産業がマイナスの数値を示し、小売業▲60.4、卸売業▲60.7、サービス業▲53.6と大幅悪化を示した。売上DIも▲49.0と、前回調査(▲23.2)から25.8ポイント悪化した。

向こう3ヵ月（4月～6月）の先行き見通しは更に悪く、全体で▲75.5ポイント、業種別でも全業種が▲50ポイントを下回る悪化となる見通しとなった。売上DIも同様で全体で▲78.5ポイントの悪化となった。

※業種別、設問別のDI値一覧表（実績：上段）（見通し下段）

	業況	売上高	採算	資金繰り	仕入単価	従業員
全産業	▲45.2	▲49.0	▲41.7	▲31.7	▲18.7	11.8
	▲75.5	▲78.5	▲73.7	▲55.5	▲23.0	1.7
小売業	▲60.4	▲64.6	▲58.3	▲41.7	▲18.8	21.4
	▲87.2	▲89.4	▲87.2	▲59.6	▲19.1	9.5
卸売業	▲60.7	▲69.0	▲58.6	▲41.4	▲34.5	6.9
	▲85.7	▲86.2	▲79.3	▲62.1	▲34.5	3.4
製造業	▲44.2	▲44.2	▲46.2	▲33.3	▲15.4	3.8
	▲78.0	▲80.0	▲78.4	▲56.0	▲29.4	▲15.7
建設業	▲14.5	▲14.8	▲7.3	▲12.7	▲23.6	16.4
	▲62.3	▲65.4	▲64.2	▲43.4	▲27.5	11.3
サービス業	▲53.6	▲60.3	▲47.1	▲34.8	▲9.7	10.4
	▲71.6	▲76.5	▲65.7	▲58.8	▲11.5	1.5



【仕入単価の状況について】

全産業合計の仕入単価DIは▲18.7と、前回(▲38.7)から20.0ポイントの改善を示した。業種別では小売業、サービス業の仕入単価DIが大幅に改善した。

向こう3ヵ月（4月～6月）の先行き見通しは、▲23.0と前回(▲38.3)より改善する見通しとなった。

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲18.7	▲18.8	▲34.5	▲15.4	▲23.6	▲9.7
前回	▲38.7	▲46.9	▲38.7	▲30.0	▲37.0	▲40.6
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲23.0	▲19.1	▲34.5	▲29.4	▲27.5	▲11.5
前回	▲38.3	▲47.9	▲29.0	▲36.0	▲37.3	▲38.1

【従業員の状況について】

全産業合計の従業員DIは11.8と、前回(30.0)から18.2ポイント人手不足感が緩和した。特に卸売業の人手不足割合が大幅緩和している。

向こう3ヵ月（4月～6月）の先行き見通しは、1.7と前回(29.4)より人手不足感が大幅緩和する見通しとなった。業種別では製造業が▲15.7と従業員過剰の割合が増加する見通しとなった。

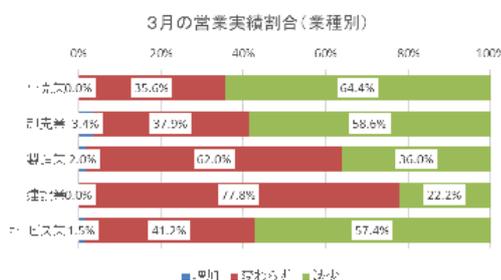
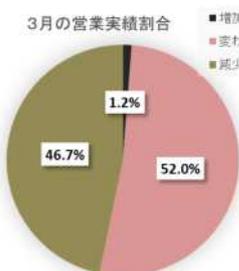
実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	11.8	21.4	6.9	3.8	16.4	10.4
前回	30.0	27.1	38.7	8.0	41.8	34.8
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	1.7	9.5	3.4	▲15.7	11.3	1.5
前回	29.4	29.2	35.5	12.0	34.0	36.4

【新型コロナウイルス感染拡大の影響について】

3月の営業実績については、全産業で「増加」と回答したのは1.2%、「変わらず」が52.0%「減少」が46.7%となり、半数の事業所が影響を受けているという結果となった。

これを業種別でみると、小売業で64.4%、卸売業で58.6%、サービス業で57.4%が「減少」と回答した。感染拡大の影響により、売上の減少・宿泊や宴会のキャンセル等で早い段階に影響を受けたと考えられる。

「減少した」と回答した事業所の3月一カ月の逸失又は損失額を実数で調査したところ、全産業の平均逸失・損失額は763万円となった。業種別では平均逸失・損失額が1番高かったのは卸売業1,331万円、次いで建設業1,133万円、製造業925万円、サービス業796万円、小売業149万円となった。



奥州市景気動向調査結果

令和2年4月調査結果

「業況DI、売上DIは前回より大きく悪化

先行き業況DI、売上DIはかつてない大幅な数値悪化」

【結果のポイント】

今回調査の全産業合計の業況DIは▲45.2と、前回調査(▲23.4)から21.8ポイント悪化した。業種別では全産業がマイナスの数値を示し、小売業▲60.4、卸売業▲60.7、サービス業▲53.6と大幅悪化を示した。

全産業の売上・採算・資金繰りDIは、売上DI▲49.0と、前回調査(▲23.2)から25.8ポイントの悪化。採算DI・資金繰りDIも悪化を示した。反対に仕入単価DIは数値が改善、従業員DIも数値が改善し人手不足感が緩和した。

向こう3ヵ月(4月～6月)の先行き見通しは、業況DIは更に悪く、全体で▲75.5ポイント、業種別でも全業種が▲50ポイントを下回る悪化となる見通しとなった。売上DIも同様に、全体で▲78.5ポイントの悪化、採算・資金繰りDIも悪化を示した。反対に仕入単価DIは数値が改善、従業員DIも数値が改善し人手不足感が緩和した。

新型コロナウイルスの感染拡大による影響についての調査で、3月の営業実績については、全産業で「増加」と回答したのは1.2%、「変わらず」が52.0%「減少」が46.7%となり、半数の事業所が影響を受けているという結果となった。業種別でみると、小売業で64.4%、卸売業で58.6%、サービス業で57.4%が「減少」と回答した。

「減少した」と回答した事業所の3月一ヵ月の逸失又は損失額は、全産業の平均逸失・損失額が763万円、業種別では平均逸失・損失額が1番高かったのは卸売業1,331万円、次いで建設業1,133万円、製造業925万円、サービス業796万円、小売業149万円となった。一つの取引単価が高い卸売・製造・建設業、外出自粛による宿泊・宴会等のキャンセルの影響により、サービス業の平均逸失・損失額が高く、経営が苦しい現状が伺える。

調査要領

- 調査期間 令和2年4月6日～24日
- 調査対象 奥州市内の事業所から、業種・規模を勘案して抽出した300事業所に対してファクシミリによるアンケート調査
- 調査項目 令和2年1月～令和2年3月の業況、売上、採算などについての状況及び自社が直面する問題点等

※DI値(景況判断指数)について

DI値は、業況・売上・採算等の各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりの意味する。

$$DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

調査票回収状況

回答数 253 回収率 84.3% 小売 48 ・ 卸売 29 ・ 製造 52 ・ 建設 55 ・ サービス 69

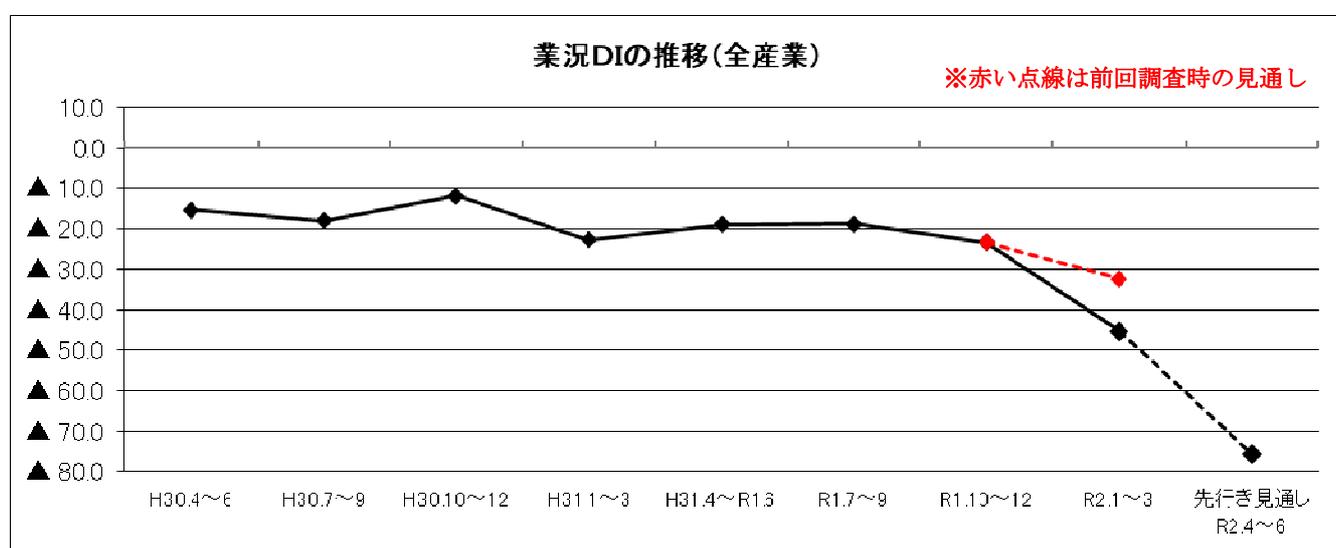
【業況についての判断】

○全産業合計の業況DIは▲45.2と、前回調査(▲23.4)から21.8ポイント悪化した。業種別では全産業がマイナスの数値を示し、小売業▲60.4、卸売業▲60.7、サービス業▲53.6と大幅悪化を示した。

向こう3ヵ月(4月~6月)の先行き見通しは更に悪く、全体で▲75.5ポイント、業種別でも全業種が▲50ポイントを下回る悪化となる見通しとなった。

○業況DI(前年同期比)の推移 【全産業】

H30.4~6	H30.7~9	H30.10~12	H31.1~3	H31.4~R1.6	R1.7~9	R1.10~12	R2.1~3	先行き見通し R2.4~6
▲15.3	▲18.0	▲11.9	▲22.7	▲18.9	▲18.8	▲23.4	▲45.2	▲75.5

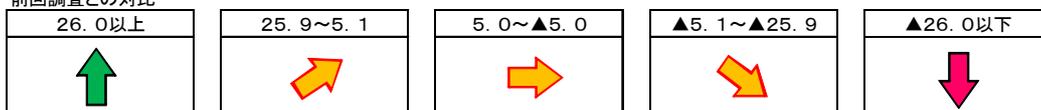


○業況DI(業種別)

実績	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↓ ▲60.4	↓ ▲60.7	↔ ▲44.2	↔ ▲14.5	↔ ▲53.6
前回	▲28.6	▲32.3	▲22.4	1.8	▲36.8

見通し	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↓ ▲87.2	↓ ▲85.7	↓ ▲78.0	↓ ▲62.3	↓ ▲71.6
前回	▲48.9	▲35.5	▲26.0	▲15.1	▲37.9

前回調査との対比



※以降の表も同様

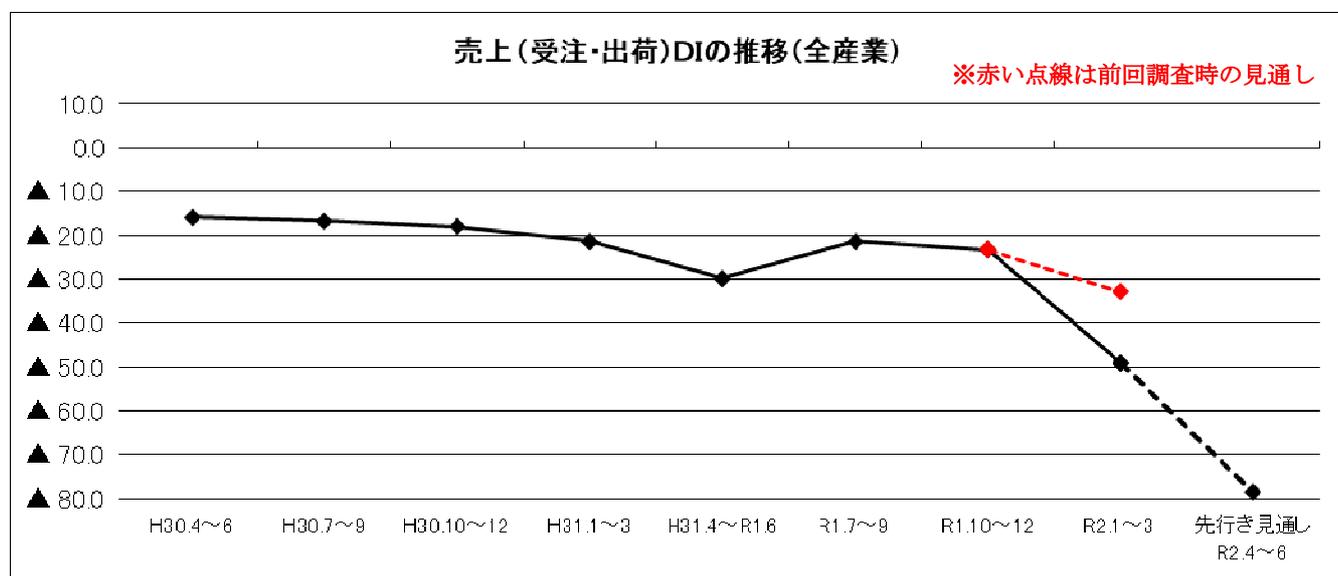
【売上（受注・出荷）の状況についての判断】

○全産業合計の売上DIは▲49.0と、前回調査(▲23.2)から25.8ポイントの悪化。業種別でも全業種で悪化、小売業▲64.6、卸売業▲69.0、サービス業▲60.3と大幅悪化となった。

向こう3ヵ月（4月～6月）の先行き見通しについても業況と同様で、全体で▲78.5ポイント、業種別でも全業種が▲50ポイントを下回る悪化となる見通しとなった。

○売上（受注・出荷）DI（前年同期比）の推移 【全産業】

H30.4～6	H30.7～9	H30.10～12	H31.1～3	H31.4～R1.6	R1.7～9	R1.10～12	R2.1～3	先行き見通し R2.4～6
▲ 15.8	▲ 16.7	▲ 18.1	▲ 21.4	▲ 29.8	▲ 21.4	▲ 23.2	▲ 49.0	▲ 78.5



○売上（受注・出荷）DI（業種別）

実績	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↓ ▲ 64.6	↓ ▲ 69.0	👉 ▲ 44.2	👉 ▲ 14.8	↓ ▲ 60.3
前回	▲ 20.8	▲ 40.6	▲ 30.0	3.6	▲ 33.3

見通し	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↓ ▲ 89.4	↓ ▲ 86.2	↓ ▲ 80.0	↓ ▲ 65.4	↓ ▲ 76.5
前回	▲ 44.7	▲ 34.4	▲ 34.0	▲ 21.2	▲ 32.4

【採算の状況についての判断】

○全産業合計の採算D Iは▲41.7と、前回調査(▲21.6)から20.1ポイントの悪化。業種別に見ると全業種で数値が悪化し、小売・卸売業は▲50ポイントを下回る大幅悪化となった。

向こう3ヵ月(4月～6月)の先行き見通しは、▲73.7と前回調査(▲26.8)を大きく下回る悪化見通しとなった。

○採算D I (業種別)

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	 ▲ 41.7	 ▲ 58.3	 ▲ 58.6	 ▲ 46.2	 ▲ 7.3	 ▲ 47.1
前回	▲ 21.6	▲ 20.4	▲ 28.1	▲ 28.0	1.8	▲ 33.3

見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	 ▲ 73.7	 ▲ 87.2	 ▲ 79.3	 ▲ 78.4	 ▲ 64.2	 ▲ 65.7
前回	▲ 26.8	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 20.0	▲ 9.6	▲ 32.4

※D I = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

【資金繰りの状況についての判断】

○全産業合計の資金繰りD Iは▲31.7と、前回調査(▲11.8)から19.9ポイントの悪化。業種別に見ると全業種で数値が悪化を示した。

向こう3ヵ月(4月～6月)の先行き見通しは、▲55.5と前回調査(▲18.1)より悪化する見通しとなった。全業種大幅悪化の見通しを示している。

○資金繰りD I (業種別)

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	 ▲ 31.7	 ▲ 41.7	 ▲ 41.4	 ▲ 33.3	 ▲ 12.7	 ▲ 34.8
前回	▲ 11.8	▲ 10.2	▲ 12.5	▲ 12.0	5.5	▲ 26.5

見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	 ▲ 55.5	 ▲ 59.6	 ▲ 62.1	 ▲ 56.0	 ▲ 43.4	 ▲ 58.8
前回	▲ 18.1	▲ 20.8	▲ 18.8	▲ 16.0	▲ 3.8	▲ 28.8

※D I = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

【仕入単価の状況についての判断】

○全産業合計の仕入単価DIは▲18.7と、前回(▲38.7)から20.0ポイントの改善を示した。業種別に見ると小売業▲18.8(前回調査▲46.9)、サービス業▲9.7(前回調査▲40.6)と、仕入単価DIが大幅に改善した。

向こう3ヵ月(4月～6月)の先行き見通しは、▲23.0と前回(▲38.3)より改善する見通しとなった。

○仕入単価DI(業種別)

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲18.7	▲18.8	▲34.5	▲15.4	▲23.6	▲9.7
前回	▲38.7	▲46.9	▲38.7	▲30.0	▲37.0	▲40.6

見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲23.0	▲19.1	▲34.5	▲29.4	▲27.5	▲11.5
前回	▲38.3	▲47.9	▲29.0	▲36.0	▲37.3	▲38.1

※DI = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

【従業員の状況についての判断】

○全産業合計の従業員DIは11.8と、前回(30.0)から18.2ポイント人手不足感が緩和した。業種別に見ると全業種で人手不足感が緩和している。特に卸売業は6.9ポイント(プラス31.8)と人手不足割合が大幅緩和している。

向こう3ヵ月(4月～6月)の先行き見通しは、1.7と前回(29.4)より人手不足感が大幅緩和する見通しとなった。業種別では卸売・製造・サービス業が大幅緩和、特に製造業は▲15.7と従業員過剰の割合が増加する見通しとなった。

○従業員DI(業種別)

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	11.8	21.4	6.9	3.8	16.4	10.4
前回	30.0	27.1	38.7	8.0	41.8	34.8

見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	1.7	9.5	3.4	▲15.7	11.3	1.5
前回	29.4	29.2	35.5	12.0	34.0	36.4

※DI = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

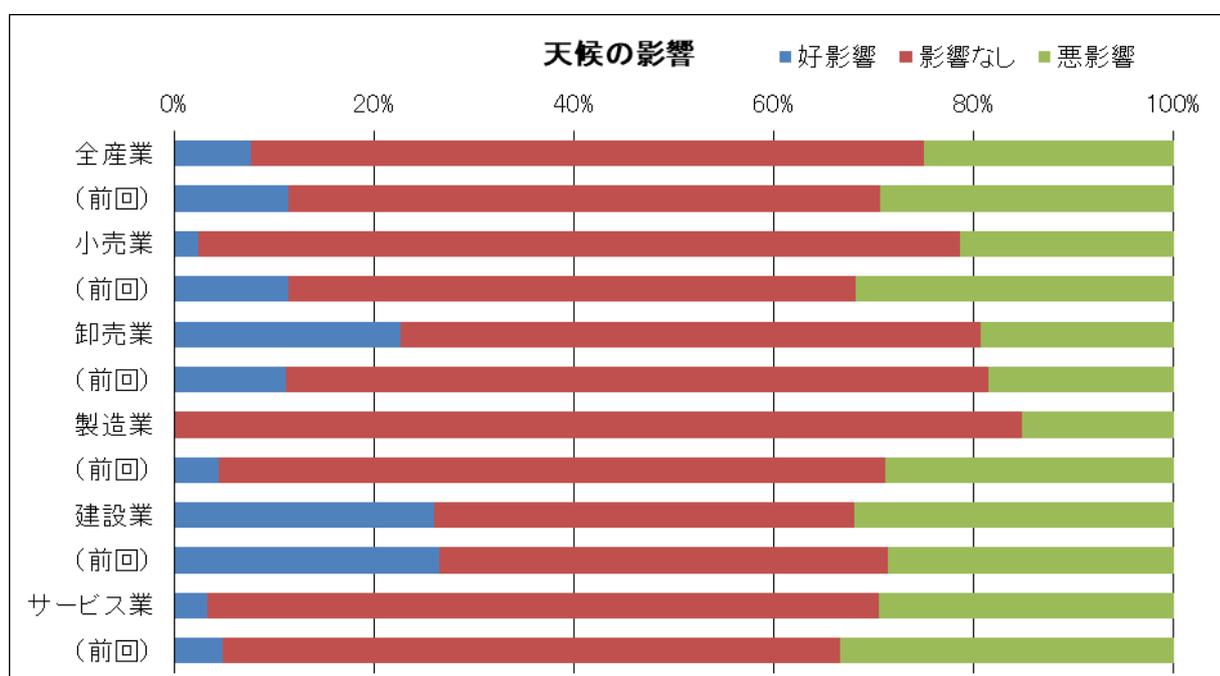
《経営環境》

【天候の影響】

○天候の影響は、全産業で好影響が7.6%、影響なしが67.4%、悪影響が25.0%の回答となった。業種別では建設業が26.0%、卸売業が22.6%好影響と答え、サービス業が29.5%、小売業が21.4%悪影響と答えた。前回比で見ると、卸売業で好影響の割合が増加、製造業で悪影響の割合が減少した。

○天候の影響（業種別影響割合）

	全産業	小 売	卸 売	製 造	建 設	サービス
好 影 響	7.6%	2.4%	22.6%	0.0%	26.0%	3.3%
影 響 な し	67.4%	76.2%	58.1%	84.8%	42.0%	67.2%
悪 影 響	25.0%	21.4%	19.4%	15.2%	32.0%	29.5%

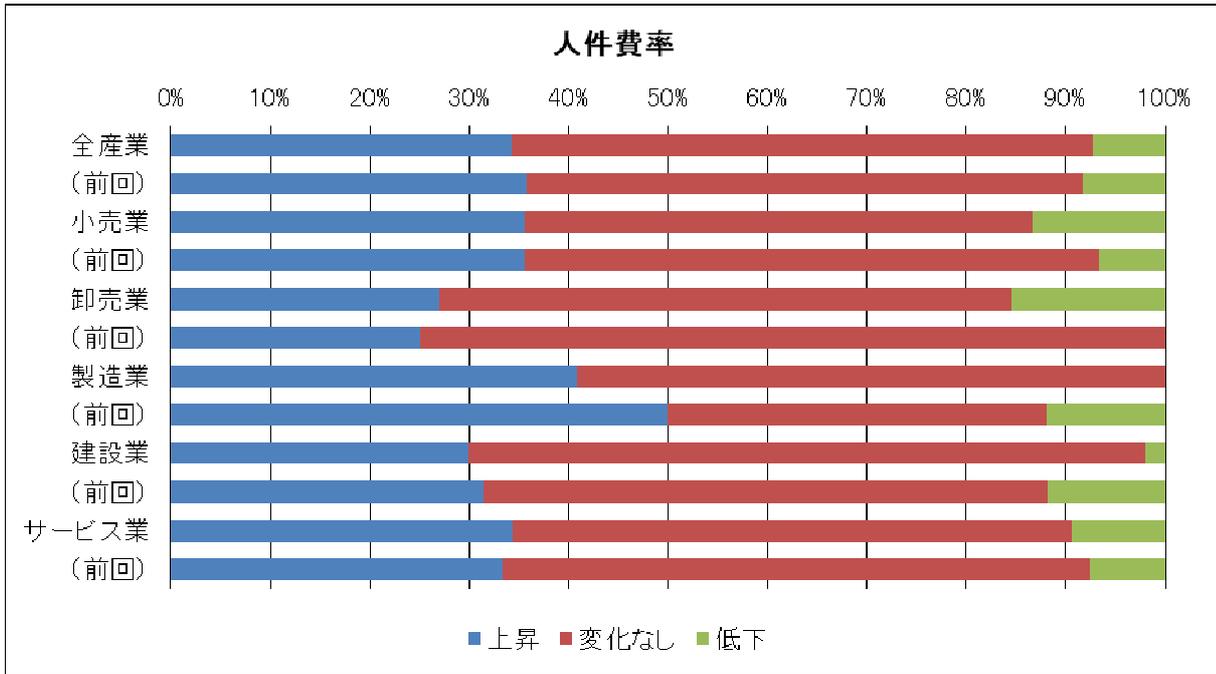


【人件費率】

○人件費率は、全産業で上昇が34.2%、変化なしが58.5%、低下が7.3%という回答となった。業種別に見ると製造業で上昇の回答が40.8%と全産業中最も高く、製造業では低下の回答が無かった。前回比で見ると、製造業で上昇の割合が減少し、建設業で低下の割合が減少した。

○人件費率（業種別人件費率割合）

	全産業	小 売	卸 売	製 造	建 設	サービス
上 昇	34.2%	35.6%	26.9%	40.8%	30.0%	34.4%
変 化 な し	58.5%	51.1%	57.7%	59.2%	68.0%	56.3%
低 下	7.3%	13.3%	15.4%	0.0%	2.0%	9.4%

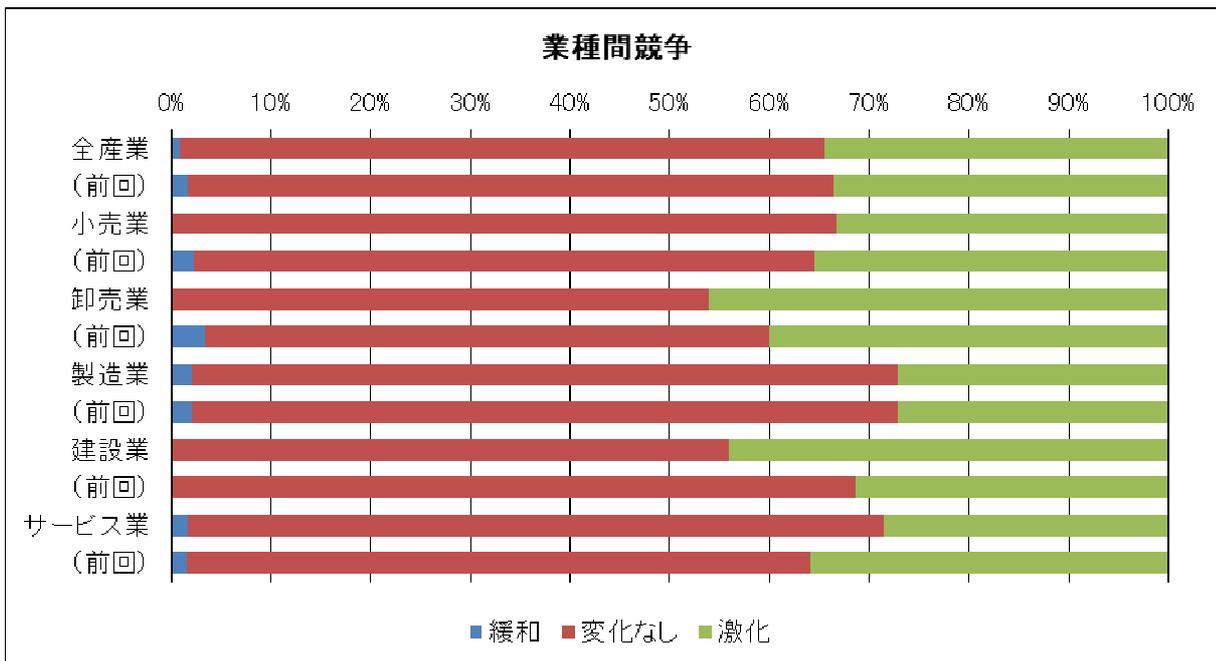


【業種間競争】

○業種間競争は、全産業で緩和が0.9%、変化なしが64.7%、激化が34.5%という回答となった。業種別では緩和の回答が製造・サービス業のみだった。また全業種変化なしの回答割合が前回同様多くなっている。前回比で見ると、卸売・建設業で激化の割合が共に減少、サービス業で激化の割合が増加した。

○業種間競争（業種別競争状況割合）

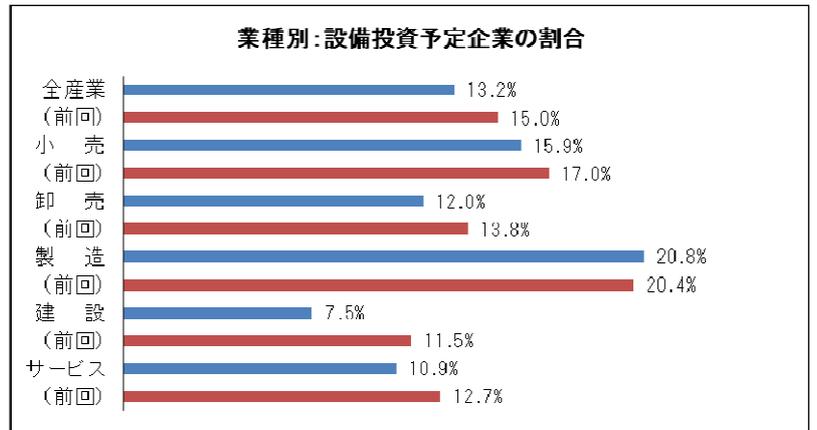
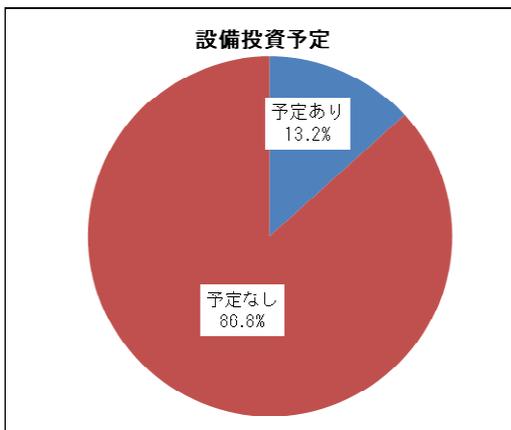
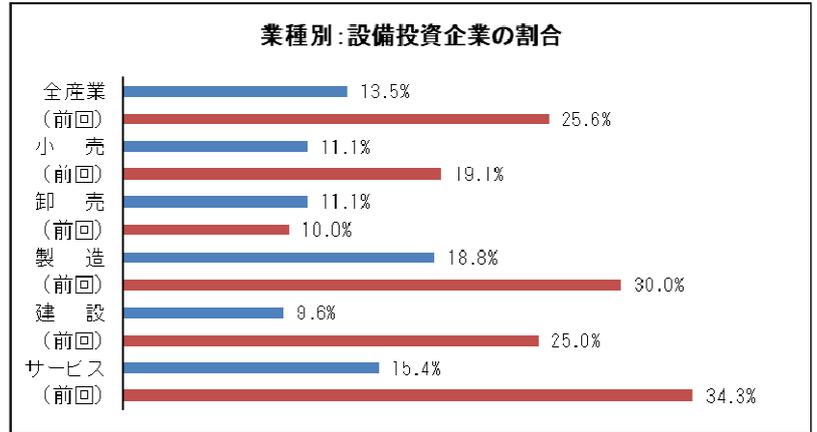
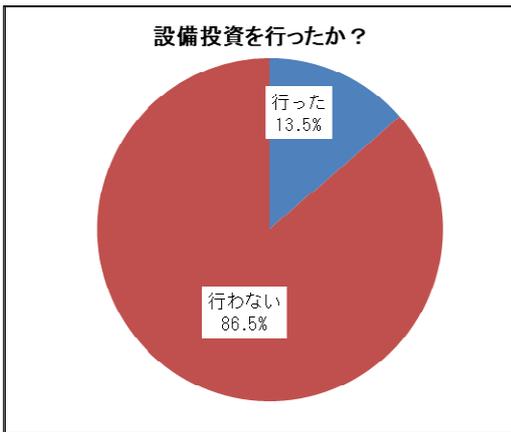
	全産業	小 売	卸 売	製 造	建 設	サービス
緩 和	0.9%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	1.6%
変 化 な し	64.7%	66.7%	53.8%	70.8%	56.0%	69.8%
激 化	34.5%	33.3%	46.2%	27.1%	44.0%	28.6%



【設備投資】

○設備投資は全産業で13.5%の事業所で「行った」と回答があり、前回(25.6%)より大幅減少した。業種別では製造業で18.8%、サービス業で15.4%が「行った」と回答、また建設業は9.6%と低い数値だった。前回比で見ると卸売業を除く全ての業種で「行った」の回答が減少した。

今後設備投資の予定があると答えた事業所は13.2%となり前回調査(15.0%)より減少した。業種別では製造業で20.8%、小売業で15.9%が「行なう予定」と回答した。前回比で見ると製造業で「行う予定」の回答が増加、小売・卸売・建設・サービス業で「行う予定」の回答が減少した。



「臨時調査」

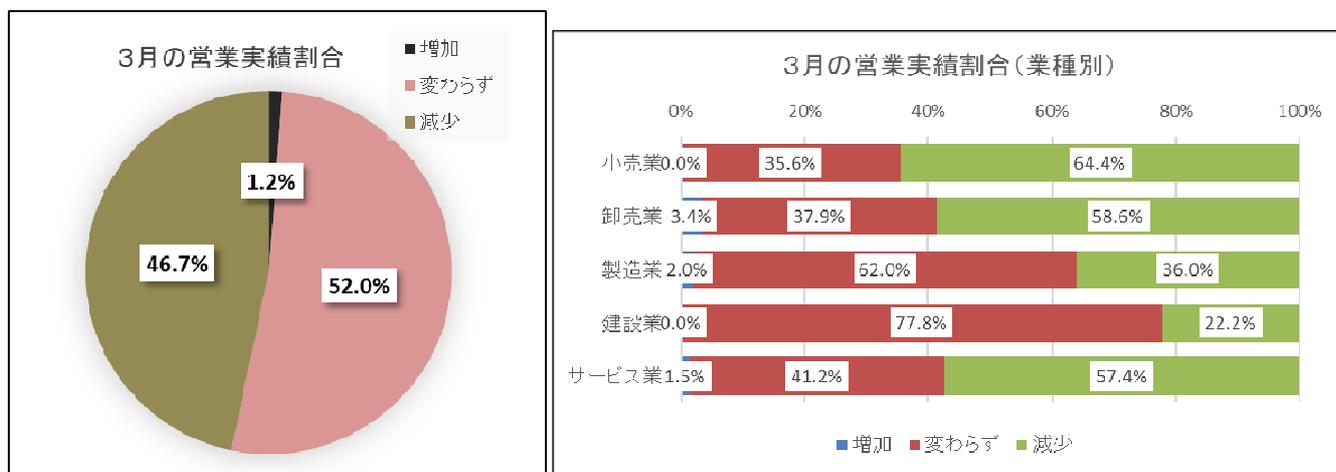
【新型コロナウイルス感染拡大の影響について】

今回、新型コロナウイルスの感染拡大による影響について調査を行った。既に1月下旬から何らかの形で影響が出始めてきていたが、その影響は2～3月にかけて一層強く及ぼすようになってきた。

調査開始の4月1日を基準としてその前月3月一か月の影響について調査を行ったところ、3月の営業実績については、全産業で「増加」と回答したのは1.2%、「変わらず」が52.0%「減少」が46.7%となり、半数の事業所が影響を受けているという結果となった。

これを業種別でみると、小売業で64.4%、卸売業で58.6%、サービス業で57.4%が「減少」と回答

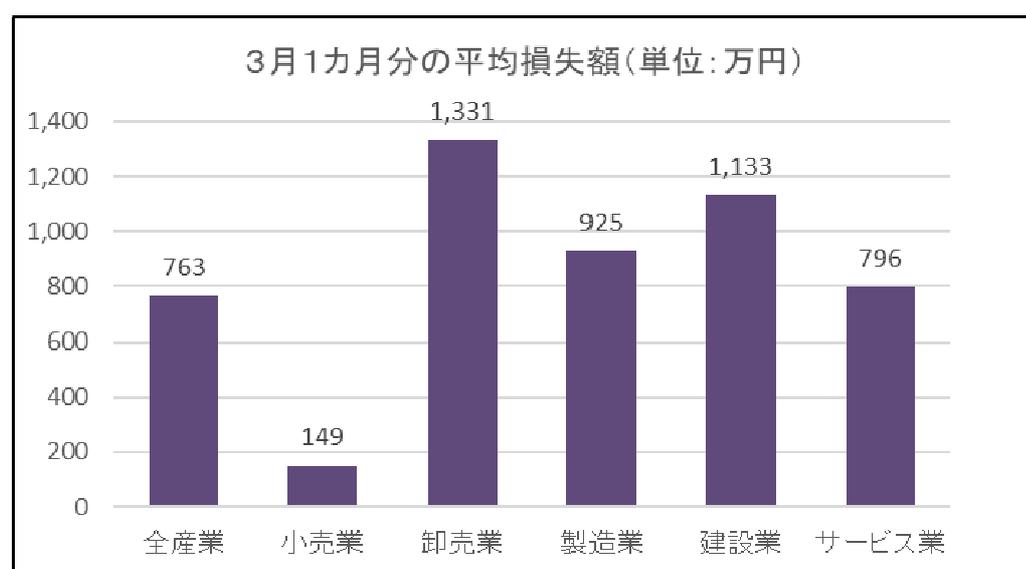
した。感染拡大の影響により、売上の減少・宿泊や宴会のキャンセル等で早い段階に影響を受けたと考えられる。製造業・建設業については「変わらず」の回答が多かったが、材料や資材の調達の遅れによる影響が4月以降に大きく出てくるのではと考えられる。



「減少した」と回答した事業所の3月一カ月の逸失又は損失額を実数で調査したところ、全産業の平均逸失・損失額は763万円となった。業種別では平均逸失・損失額が1番高かったのは卸売業1,331万円、次いで建設業1,133万円、製造業925万円、サービス業796万円、小売業149万円となった。

また業種毎に一社当たりの逸失・損失額で一番大きい額は、「小売業500万円」「卸売業1億2000万円」「製造業4000万円」「建設業6000万円」「サービス業1億円」(事業所名公表せず)となった。一つの取引単価が高い卸売・製造・建設業の平均逸失・損失額が高く、また、外出自粛による宿泊・宴会等のキャンセルの影響により、サービス業の平均逸失・損失額が高く、経営が苦しい現状が伺える。

今回の臨時調査は3月一カ月の影響調査だったが、自由意見では「4月以降の売上減少」を懸念する意見が大半を占めている。業況・売上の向こう3カ月の予測も、かつてない悪化の見通しを示しており、暫くは経済活動の緊張状態が続くと思われる。



自由意見

(小売業)

- ◇2月から3月に酒を届けている店で宴会のキャンセルがあつて、注文が減少している。都会と比較しても元になる数が少ないのだから、8割減でも7割減でもあまり変わりがありません。
- ◇4月はじめに予定していた売り出しが出来なくなり、用意していた商品も在庫のままになったりしている。
- ◇各取引メーカーの出張営業自粛で今後の景況が気がかり。
- ◇早急に救済金の給付、並びに徳政令の実施。令和の徳政令として広く厚く行うべきである。
- ◇3月より売上減、各種行事等の弁当売上減、受注件数は変わらないが1件当たりの数量の減少。4月も花見・火防祭での需要が大幅に減少すると思う。
- ◇仕事のためのマスクが不足しております。業務用に使用するマスクを優先的に供給していただきたい。
- ◇仕入れをあまりしない。在庫を残さない。
- ◇水沢・江刺共通の商品券を作ってください
- ◇市内は交通量も激減で人通りは全く無くこれから先を思うと本当に困ったものです。どうすれば元のようなになるのでしょうか。

(卸売業)

- ◇県内外クローズしました。得意先の返品処理、日付の近い商品の転売（ホテル・道の駅などのクローズ）、食品なので廃棄も多いため費用も増えてきている。
- ◇4月に入り大幅受注減、前年比50%
- ◇マスク、手洗い、うがいの徹底。
- ◇新型コロナウイルスの影響が気持ち的にも下向きになり、積極的な消費につながらない。全体的に医療に関係ある業界以外は業績悪化で仕方がないのではないのでしょうか。

(製造業)

- ◇新型コロナウイルスによる全国緊急事態宣言の影響が深刻である。
- ◇今はとにかくコロナでいろいろな影響を受けている。営業に限られ経営を悪化させている。
- ◇コロナの影響が無いとは言えないが、年度末には例年売り上げは減少します。早くいつもの景気に戻ってほしい
- ◇4月からは予想不可能なほど減収・減益になります。
- ◇3月までは何とかかなりでしたが、4月以降は相当の落ち込みが予想されます。
- ◇ふるさと納税で3月は減少しなかったが、4月以降は悪化する予想
- ◇観光地のお土産品の減少、コロナ拡大により、4月に入り備蓄用の乾麺の需要が入っている。
- ◇普通の年であれば年度末は取引先を訪問し、売上実績及び新年度計画を聞いて、弊社の計画を立てていたが、今年は訪問は原則禁止の取引先が多く、出張できない。
- ◇4月より雇用助成金を申請し休業日を増やしている。原材料が不足し始めてきて、数か月後仮にコロナウイルスが終息しても、材料不足の問題ですぐには通常通り操業するのは難しいと思われる。
- ◇営業の他県への出張自粛
- ◇コロナに負けず頑張らなければ
- ◇4月以降コロナの影響で売上減少を見込む

(建設業)

- ◇新型コロナウイルスの影響で、今後の業況に不安
- ◇コロナの影響で客足が落ちており、特に飲食部門、スタンド部門で売上げが減少している
- ◇今のところ新型コロナウイルスによる影響はありませんが、今後の状況次第では現場事務所の閉鎖などが考えられる。徐々にではなく即影響が出て対応しなければならないというところが怖い
- ◇一括工事材料が入りにくくなっています
- ◇岩手県においては新型コロナ感染の報告はまだないが、感染者が出れば爆発的に増加することが予想される。業種別の対応方法や資金調達・職員の休業補償について指導をいただきたい
- ◇コロナウイルス感染拡大で脅威を感じる。岩手県内に感染者が出たら事業が寸断するのではないかと心配である。平常に戻るには半年間はかかるのではと思い、資金調達（借入）を検討するところである。東日本大震災も大変だったが、今回のコロナウイルスはそれとは比較にならない程恐ろしい
- ◇建設業の場合公共工事が概ね3月工期ですので、それまではコロナ関連の影響は少ないでしょうが、これから令和2年度の工事の発注が、民間がどの位設備投資カットしてくるか、株価も下がり含み資産も下がったので恐らく厳しい数字かと思われる。現在受注している工事施工の工期の内にコロナが終息し景気回復して欲しいという神頼みしかありません。
- ◇夏以降の受注が心配、さらにその先はより心配、現場が（人間が）向上に向けて取り組み中

(サービス業)

- ◇全館の取り組み 消毒液設置数の増加・定期消毒の実施・接客時のマスク使用・お客様へのお声かけ強化・出勤時の体調チェックの徹底・対策本部の設置・不要不急の外出の禁止・関係者以外の入館抑制策・在宅勤務及び有給休暇取得の奨励
- ◇本社より除菌類を仕入れしてもなかなか入荷しないため売上減少、チェーン店の休業
- ◇今だから、今まで手薄になっていた所や、新部署の立ち上げに取り組んでいる
- ◇3月はそれほど影響が無かったが、4月以降軒並みイベント中止の余波で売上高に悪影響が出そう
- ◇新型コロナウイルス感染防止対策をとっている。キャンセルに対応し職員の勤務時間の調整をしている
- ◇3月5日～15日まで休塾措置をとった。入会者激減により向こう1年間に渡って響くと思われる。また4月の1カ月授業料無料として生徒募集しているが、その分授業料は入らないので苦慮している。
- ◇ウイルス対策に気を配ることを重点的に対応している
- ◇例年であれば、歓送迎会・花見・総会後の懇親会・法事など団体客があるのに、ほとんどキャンセル。予約もかなり減っているので売上が出せない。今後に関して検討中
- ◇何とか公庫さんに助けていただきましたが、この状態が続くのであれば先が見えないし、終息したとしてもすぐに依然の様になるとは思えません。
- ◇コロナウイルスの影響が終息も見通しも立たず不安